

平成30年第22回

# 荒川区教育委員会定例会

平成30年11月22日

於)議員待遇者控室

荒川区教育委員会

平成30年荒川区教育委員会第22回定例会

1 日 時	平成30年11月22日	午後1時30分
2 場 所	議員待遇者控室	
3 出席委員	教 育 長 教育長職務代理者 委 員	高 梨 博 和 小 林 敦 子 小 池 寛 治
4 欠席委員	委 員 委 員	坂 田 一 郎 高 野 照 夫
5 出席職員	教 育 部 長 教育総務課長 教育施設課長 学 務 課 長 指 導 室 長 文化交流推進課 生涯学習課長 ゆいの森課長 地域図書館課長 書 記 書 記 書 記 書 記	阿 部 忠 資 山 形 実 平 野 興 一 小 堀 明 美 瀬 下 清 谷 井 千 絵 浦 田 寛 士 小 林 弘 幸 成 瀬 慶 亮 佐々木 希久子 大久保 和 彦 早 坂 利 春 宮 島 弘 江

( 1 ) 審議事項

議案第 3 2 号 荒川区社会教育委員の委嘱について

( 2 ) 報告事項

ア 日暮里図書館における壁画制作について

イ 学校パワーアップ事業の成果報告及び実施計画について

ウ 第 8 回「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」の審査結果について

( 3 ) その他

教育長 ただいまから荒川区教育委員会第22回定例会を開催いたします。

まず初めに出席者数の御報告を申し上げます。本日、3名出席でございます。

議事録の署名委員につきましては、小林委員、小池委員、御兩名をお願いいたします。

また本日、報告案件の担当の理事者として谷井文化交流推進課長が出席してございます。案件終了後、退席をする予定となっております。御了承いただければと思います。

また、8月24日開催の第16回定例会と9月14日開催の第17回定例会の議事録につきましては、前回の定例会にて配付し、この間、御確認をしていただいたところでございます。本日、特に委員の皆様から御意見・御指摘等なければ、承認とさせていただきますと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

教育長 それでは承認とさせていただきます。

また本日、9月28日開催の第18回定例会の議事録を机上に配付させていただいてございます。次回の定例会で承認についてお諮りいたしますので、次回までに御確認いただきまして、お気づきの点等につきまして、事務局まで御連絡をお願いしたいと存じます。

それでは、本日の議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

本日は、審議事項1件、報告事項が3件となっております。

初めに審議事項、議案第32号「荒川区社会教育委員の委嘱について」を議題といたします。

生涯学習課長、説明をお願いいたします。

生涯学習課長 それでは、議案第32号「荒川区社会教育委員の委嘱について」御提案申し上げます。

このたび、平成30年12月7日をもって任期が切れます社会教育委員現職の鶴岡朝行氏を再任して委嘱するものでございます。

内容のトップのところに、鶴岡朝行氏の役職等、任期を記載させていただいてございます。

委嘱後の社会教育委員の構成といたしましては、こちらの記載のとおり9名となっております。

鶴岡氏におきましては、スポーツ部門で28年度には済州市との少年サッカー交流の派遣団長としてお務めいただきましたこと。また毎年行ってございます社会教育委員の会議、こちらは社会教育事業に関連する事業や補助金に関する審議でございますけれども、特にスポーツに関する事業につきまして、積極的な御意見等をいただいております。こうしたことから引き続き、鶴岡氏を再任して委嘱したいと考えてございます。

大変雑駁でございますけれども、説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

げます。

教育長 この件について委員の皆様、御意見、御質疑承りますればと思いますが、いかがでしょうか。

小池委員 鶴岡委員の再任に賛成です。再任ということですが、いつから荒川区の社会教育委員をなさっているのですか。何期目になるのですか。

生涯学習課長 現在6期目でございます、次カウントしますと7期目になります。

小池委員 わかりました。

教育長 6期目ということは何年からですか。

生涯学習課長 平成18年12月から着任していただいております。1期2年でございます。

教育長 よろしいでしょうか。

小池委員 はい。

教育長 小林先生、よろしいでしょうか。

小林委員 はい。結構です。

教育長 ちなみに、社会教育委員ということだけれども、社会教育でもスポーツの分野というのは関連があるのでしょうか。

生涯学習課長 例年5月には先ほど申し上げました社会教育委員会の会議を開催して、社会教育に関連する文化、スポーツ、生涯学習の分野で補助金を出しておりますが、その件についての審議をしていただいております。

教育長 スポーツ団体にですか。

生涯学習課長 はい。スポーツもございます。

教育長 そういった意味では、スポーツ関係の専門家の方が社会教育委員になっていただくことはありがたいことなのですね。

生涯学習課長 ありがたいことでございます。

教育長 わかりました。では、そのほか特になければ、議案第32号「荒川区社会教育委員の委嘱について」原案のとおり決定させていただいてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ声あり〕

教育長 それでは、原案のとおり決定とさせていただきます。

続いて、報告事項に入ります。

報告事項ア「日暮里図書館における壁画制作について」を議題といたします。それでは、文化交流推進課長、説明をお願いいたします。

文化交流推進課長 それでは御手元の資料を御覧ください。

これまで区では区立の小学生とともに壁画を区内各地でつくってきたのですが、

今回、日暮里図書館にさせていただくということでの御報告です。

今、御手元にカラーの写真を2枚ほど付けているのですけれども、現地、現状はこちらの3枚目のようにコンクリートむき出しでございます。日暮里図書館はおかげさまでリニューアルさせていただきまして、お客さんも大変多くお越しいただいておりますが、ちょうど地下の児童室の部分の壁面が、今このようにコンクリートむき出しの状態になっております。

今回こちらに壁画を制作することによって、雰囲気明るくし、またさらに魅力アップ、またこの壁画をする際に、もちろんプロがやるのですけれども、一部子どもたちにワークショップでかかわっていただきます。そういったことで、図書館への愛着や誇りも持っていただけるのではないかとということで、進めるものです。

先ほど、プロにやっていただくということだったのですけれども、そのグループというのも荒川区と芸術文化振興のための連携合意書の締結をしている東京藝術大学の卒業生グループでして、これまでも区内で壁画を描いていただいております。

その完成の予想図がこちらになります。こちらはかなり広い面積なので、平面にするとこの形になるのですけれども、実際に壁画に描くところなるという完成予想図です。

児童室の前の壁画ですので、まず絵本をモチーフにしたような形で、明るいデザイン、また日暮里ゆかりの童謡「夕やけ小焼け」をモチーフとしたデザインになっております。例えば日暮里の山の上のお寺、また荒川遊園の観覧車を入れたりということで、荒川区らしさを出したデザインです。

こちらを今後進めてまいります。今後の予定ですけれども、今、色塗りワークショップの参加者を募集しておりますが、12月中旬、15日、16日に開催します。そのチラシがこの黄色い紙になってございます。

そして12月21日には完成式を行いたいということで、今、進めているところです。

大変簡単ですが、説明は以上です。

教育長 この件について、御意見、御質問等、ございましたらお願いいたします。

小池委員 デザインは荒川区に結びつけたところがなかなかいいと思います。それから壁画にするのはなかなかいいですね。地域というか周りの雰囲気が随分明るくなると思います。今、既にあるところを見ても、やっぱりいいですね。

それから、もう一つ感心したのが、壁画の色塗りをワークショップという形で小学4年生から中学生まで入れるということ、子どもたちに自分がこれをやったのだという親しみを持たせるという意味で、とてもいいアイデア。これはアイデア賞ですね。

以上です。

文化交流推進課長 ありがとうございます。

教育長 小林委員、どうぞ。

小林委員 こういった形で壁画をつくることによって、まち全体がとても明るくなると思います。図書館は夢のある空間だと思います。図書館から一歩外に出て、夢のある空間を広げていく。そういう意味でもこの壁画は効果的で、いい取り組みだと思います。期待しています。

教育長 ありがとうございます。小池委員、小林委員からお話があったように、まち全体がこうやってカラフルになって、子育て支援のまち、子どもが楽しく生活できるまち、というイメージが広がっていくことは大変いいことだと思います。ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

文化交流推進課長 ありがとうございました。

教育長 それでは続いて、報告事項イ「学校パワーアップ事業の成果報告及び実施計画について」を議題といたします。これは指導室長、説明をお願いいたします。

指導室長 初めに、パワーアップ事業の報告の前に、10月26日の教育委員会で御報告させていただきました荒川区教育委員会主要施策に関する点検評価報告書の聖学院大学東教授の英語教育の記述のところに誤りがございましたので、先に御報告をさせていただきます。

報告書の中の25ページ6行目に「また、全国学力・学習状況調査英語科の荒川区の正答率が高いことも長年の英語教育の取り組みの成果として評価できる」という記述がございます。こちらの「全国学力・学習状況調査」につきましては、英語科の調査を行っておりませんので、こちらは誤りでございまして、東先生に直接私も御連絡申し上げまして、どういう趣旨でというところで御確認をさせていただきましたところ、荒川区における「学力向上のための調査」この結果で27年、28年、29年の3年間にわたりまして、中一の英語科の結果が全国の正答率に比べて高くなっているところ。また30年度、今年度の中二の全国正答率が、荒川区の結果が全国に比べて大変大きく上回っているところから、長年の小学校英語教育の充実に取り組んできている成果であると考え、そういう意味でございまして、全国の調査と区の調査と違っていたというところの確認がとれましたので、ここで御報告をさせていただきたいと思ひます。

教育長 ややこしいのですけれども、荒川区では学力調査というのを、区独自の調査と東京都の調査と全国の調査と3種類やっています、荒川区独自の調査で全学年やっていますね。それは英語もやっています、荒川区の子どもたちの成績が、同じテストをやっている全国の自治体の子たちと比べて上回っているということです。

小林委員 そうなのですか。

教育長 そういった意味では、荒川区が小一から英語教育をしてきた成果が、英語科の教科の

成績にも結びついているということですよ。

指導室長 はい。

教育長 ですから、その記述が完全に間違いとは言い切れないのだけれども、全国学力調査ではないということなのです。

指導室長 区の学力調査であったということです。

小池委員 荒川区で実施している。

教育長 そうです。区が実施している。

ほかの自治体も全国の学力調査以外に学力調査をやっているとして、東京書籍のつくった問題を全国統一模擬テストみたいな形で実施しており、荒川区の子どもたちの英語の成績がいいということでしたね。

指導室長 東京書籍の学力調査を使っている自治体が今、400から450ぐらいございます。

東京都内でも23区中16区が東京書籍のものを使っておりますので、大変多くの児童・生徒がこの学力調査を行ってございまして、その平均ということで、それが全国平均と。

教育長 そういった意味では前回、学力調査の結果を御報告しましたけれども、小学校に比べて中学校については私立に抜けてしまったり国立に抜けてしまったりする子が多くて、他の教科については苦戦しているのですけれども、こと英語についてはそういった、私立・国立に抜けていった以外のお子さんたちも、英語については全国平均より高いということです。

御研究の中でぜひ活用していただければと思うので、せっかく東先生から御評価いただいたテスト結果について、きょうは訂正という形でしたけれども、小林委員に細かく御説明していただいて、近年の東京都の調査結果はどうなのだとか、あと問題によって変わってしまったりすることもあるではないですか。だから、その問題も含めて見ていただいたりして、ぜひ、荒川区の英語教育についての御助言を、委員の御研究で御助言していただければと思います。

小林委員 よろしく申し上げます。

指導室長 続きまして、パワーアップにつきまして、こちら10月26日の教育委員会で学校パワーアップ事業の成果報告及び実施計画につきまして、御報告を申し上げたところでございます。

中でも、学校パワーアップ事業計画書の中で、修正箇所が見つかりましたので、こちらに再度御提出をさせていただきたいと思っております。本来でございましたら、この計画書につきましても修正箇所などない正確なものを御提出すべきところでございます。大変申し訳ございませんでした。修正箇所につきましては赤字できょうお配りさせていただきました資料の中に入っております。

代表的なもので申し上げますと、9ページを御覧ください。第二瑞光小学校でございます。9ページ、様式2でございます。こちらは、荒川区が行いました学力調査の結果、そしてその自校の結果、区と自校の平均正答率の比較、それをもとに分析をした内容が記載されてございます。その中で、赤文字でございます分析のところの「 」の三つ目でございます「他学年ではどの教科も区の平均を上回っている。6年生ではどの教科も大きく上回ることができた」という表現になってございますが、6年生を見ますと、6年生の結果で、理科の区の正答率が64.6、自校が65.1ということで、0.6、自校がプラスであるというところを見ますと、「大きく上回る」というところが正確ではないのではないかとこのところで、消させていただいている、そういう表現になってございます。

さらに38ページを御覧ください。こちらは第三峡田小学校でございます。第三峡田小学校の、こちらでも学力調査でございますが、今度は東京都の学力調査の結果、都の平均正答率と自校の平均がございまして、比べた分析のところ「都の平均を4ポイントから8ポイント程」と記載を変えさせていただいております。こちらが、もともとは「2ポイントから5ポイント」となっておりますが、この差の広がり記載ミスということで4から8という広がりポイントにして「程」としてございます。もともと社会科が東京都と自校を比べますとマイナス8.1、理科を比べますとマイナス4.1ということで、「4ポイントから8ポイント程」差があると表現を修正させていただいております。

最後に57ページを御覧ください。こちらは尾久小学校でございます。尾久小学校の分析のところ、「・」の四つ目で4年生でございます。「4年生は、国語・社会・算数・理科すべてで区の正答率を上回っている。基礎基本の学習内容を身に付けている」と変えさせていただいているわけですが、前回お示した計画書の中では「算数は、区の正答率とほぼ同じである」という表記がございました。算数4年生を見ますと、自校が区の正答率と比べましてプラス2.4ということで、ほぼ同じというのではなくて、正答率が上回っているという表現の方が正確であると学校とも調整をさせていただき判断させていただきましたので、こういった形で修正をさせていただいております。

そういった分析につきまして、また数値につきまして再度校長会とも連携をとって、各校とも協議の上、改めて表現を正確にということで変えさせていただいて、本日御報告を差し上げる次第でございます。

以上でございます。

教育長 学校からの計画書が出されて、書式等についてのチェックはできていたけれども、実施結果の比較だと分析についてのチェックが不十分であったということです。申しわけございませんでした。

この件については以上ですけれども、先生方から御意見、御質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員会に提出させていただく資料は、その後議会に報告し、保護者も含めて区民の皆様にお示す資料ですので、正確を期するため、学校側のチェックだけでなく、教育委員会事務局のチェックも十分厳しくチェックさせていただきます。本当に申しわけございませんでした。

教育部長 これは10月末の教育委員会で御報告申し上げて、ここで先生方に御審議いただいたのですけれども、その後こういった間違いが発見されて、改めて各全小中学校に返しまして、それぞれ数字を含めて分析も含めて見直しをしてもらいました。事務局でもすべてチェックをした結果、多数の誤りがあったということで、本来であれば10月末の段階でしっかりとしたものを提出しなければいけないところ、このようなことになったことについては改めておわびして訂正させていただきます。どうも申し訳ございませんでした。

小林委員 より正確に記述をしたことが反映されたということですので、結果的にはよかったと思っています。

教育長 お心遣いありがとうございます。

それでは次に報告事項ウ「第8回『荒川区図書館を使った調べる学習コンクール』の審査結果について」を議題といたします。この件も瀬下室長、説明をお願いします。

指導室長 それでは、第8回「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」を実施いたしまして、審査結果がまとまりましたので、御報告申し上げます。

募集期間は9月3日から9月28日の期間で行いました。

募集状況でございます。小学校からは6,767点、中学校からは1,339点、全応募数で8,106点ということで、大変多くの作品が応募されました。

審査日時でございます。11月13日に審査を行いまして、審査委員といたしまして、教育長、教育部長、指導室長、ゆいの森課長、地域図書館課長、小・中学校の校長の代表ということで、審査を行っていただきました。

審査結果でございます。記載のとおりではございますけれども、小学校におきましては区長賞が1人、教育委員会賞2人、校長会賞が3人、そして裏面でございます奨励賞が4人ということで受賞いたしました。中学校につきましてもそれぞれ素晴らしい作品が受賞されてございます。

今後の予定でございます。来年1月25日に「小論文コンテスト」と「お弁当レシピコンテスト」と合わせまして、合同表彰式を予定してございます。

簡単ではございますが、以上でございます。

教育長 この件について御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。

例年ではございますけれども、教育委員会の後に表彰式を実施させていただきます。先生方にはぜひ表彰をしていただければと思っております。

ちなみに、これが小学校で区長賞になったマグロ図鑑です。これが中学校の区長賞。そのほかこれが教育委員会賞。

小林委員 これは、本当に素晴らしいですね。

小池委員 随分大きい作品ですね。

教育長 この小学生の子は大学の先生に聞いたりしたようです。

小池委員 4年生でここまで書けるなんてすごいですね。大学生にも見せてやってください。

小林委員 大学の4年生に見せて、小学生がこんなに頑張っていると、皆さん方も頑張ってくださいと伝えたいです。

教育長 小学生の場合は、御家族と一緒に研究したりして調べたりしているのです。

小池委員 家族と一緒にでもいいけれども、これも小学3年生ですばらしいですね。

教育長 先生方には、子どもたちの努力を褒めていただけると幸いです。

小池委員 これは素晴らしいですね。ぜひ褒めてやってください。また表彰式があるわけですから。

教育長 今回、ゆいの森課長や地域図書館課長も審査委員になっていただいたのですが、審査のときにも話していたのですが、この作品を図書館等でも展示して広く区民の皆さんにも見ていただく機会をつくれるといいなと考えております。

小林委員 これは素晴らしいですね。問いの立て方や、いろいろな人へのインタビュー調査も素晴らしいし。考察も優れたものがあります。レベルが高いので、びっくりしました。

教育長 ずっと低学年のときからマグロの研究を続けています。

小林委員 そうですか。ひぐらし小学校ですか。これからが楽しみです。

教育長 御本人の了承さえ得られれば、ぜひ大学で紹介してください。

小林委員 これは本当に大学で紹介したいですね。

小池委員 小学校4年生でここまでできるというのは、本当に素晴らしい。それからこの小学校6年生だと写真、スマホか何かの写真を随分使っているのですね。

小林委員 調査の手法がまた素晴らしいですが、こういう指導はしているのでしょうか。

教育長 実は学校でもやっていますし、ゆいの森でも調べる学習コンクールの講座を開いたのですよね。

ゆいの森課長 親子講座、チャレンジ講座を低学年のお子さん、親子で来ていただいて、調べる学習はどういうものかということで、実際に体験していただきながらやっております。

小林委員 そうですか。その成果でしょうか。

教育長 区立小中学生の半分以上が応募しているということですよね。

指導室長 そうです。

小池委員 表彰式のと看、現物をどこかで見られるような形にしたらいいですね。

小林委員 確かにそうですね。

教育長 そうですね。それはぜひ。

小池委員 これはすごい。びっくりしました。

教育長 どうもありがとうございます。

小林委員 毎年、驚かされていますが、今年もびっくりです。

教育長 予定しておりました事項は以上ですけれども、事務局から連絡事項はありますでしょうか。

教育総務課長 スケジュールですけれども、10月に担当からメールさせていただきました総合教育会議を、年末でお忙しいところ申し訳ないのですが、12月20日の午後4時から予定をさせていただければと思っています。

案件につきましては、オリパラ教育など、そのほかの案件について今、調整させていただいておりますので、決まり次第、再度御連絡をさせていただければと思っています。

教育長 庁議室ですか。

教育総務課長 庁議室を予定しております。

小林委員 わかりました。

教育長 それでは、以上をもちまして教育委員会第22回定例会を閉会させていただきます。

了